

2018年5月18日 第91回日本産業衛生学会自由集会 「呼吸用保護具の重要性 ～産業用フィットテストインストラクターコースの取り組み～」

第91回 日本産業衛生学会自由集会

呼吸用保護具の重要性

～産業用フィットテストインストラクターコースの取り組み～

フィットテスト研究会産業部会では、産業現場における曝露防止のための新しいフィットテスト・プログラムを開発しています。呼吸用保護具の現場使用に関わる方、ご興味のある方はぜひご参加ください。

フィットテストインストラクター (FTI) とは、フィットテスト研究会*が実施する教育プログラムを受講し、修了試験に合格した者に、フィットテスト研究会が与える名称 (称号) です。FTI は所属する事業場や職場単位などにおいて、呼吸用保護具のフィットテストを実施できる十分な知識と経験を有します。

*フィットテスト研究会は、2010年より医療機関における呼吸器感染予防を主な対象として FTI を養成し、これまで500名以上が認定を受けています。

Date and time
日時
5月18日 金
16:00 ~ 17:30

Place
会場
D会場
くまもと県民交流会館バレア
9F会議室1



副代表：村田 克氏

各社の安全衛生担当者や産業保健師の方々からのフィットテストに関する現状や質問などが沢山あり、意見交換ができ有意義な集会となりました。



フィットテスト研究会産業部会企画

座長：村田 克 (早稲田大学)

- 1 フィットテスト研究会産業部会事業報告及び年間計画
- 2 産業用フィットテストインストラクター (FTI for Industry) コースの開発及び準備状況
 - 第1回産業用フィットテストインストラクターコース (2018.9.14@ 全国協議会 (東京)) に向けて
- 3 総合討議討論 (質疑応答を含む)
 - 産業現場での適正なフィットテストを普及していくために
 - インストラクターの育成について
 - ISO4500 シリーズにおける呼吸器保護規定について
 - その他



◆ 総合討議討論（質疑応答を含む）

- 各企業のフィットテストの現状、現場状況など
- 呼吸用保護具の適切な使用、保守管理
- 定性フィットテストと定量フィットテストの相違
- 現場の安全を確保のための呼吸用保護具の基準
- インストラクター受講の必要性、教育
- 各企業でのフィットテスト（内容と回数、対応）
- 呼吸用保護具の選定基準の曖昧さ
- じん肺などへの健康被害
- 呼吸用保護具の今後の取り組みへの方向性
- 安全衛生大会の活用
- ホームページなどQ&Aなどで問題解決 など



副代表：川島 正敏 氏

